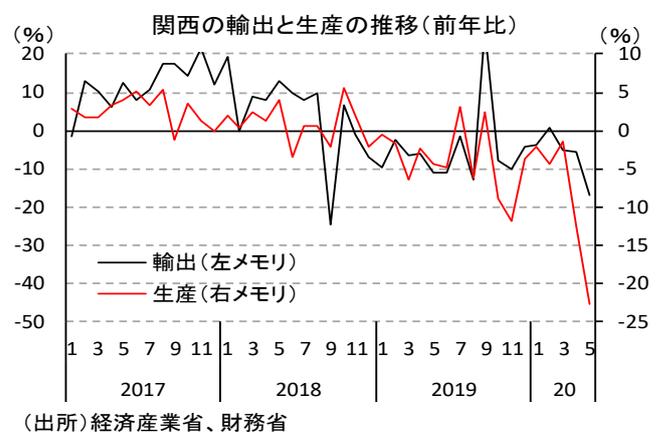
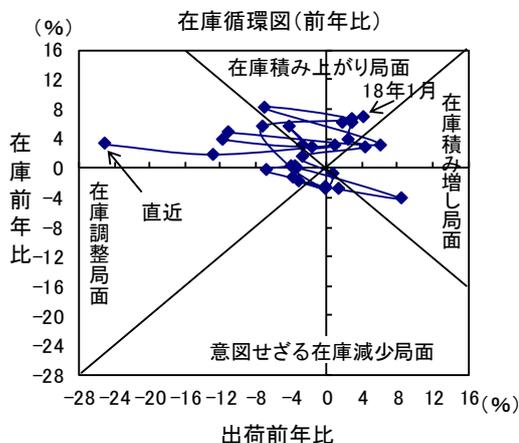
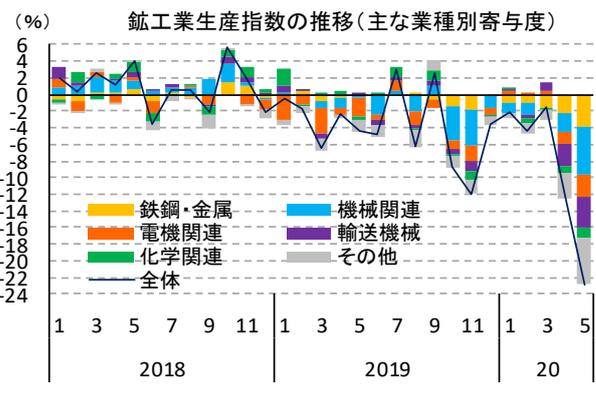
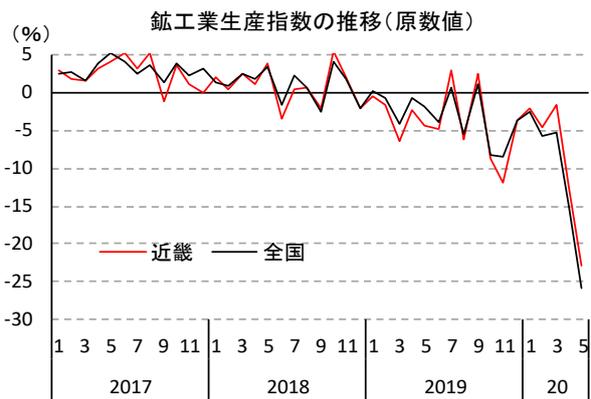


関西の景気トピックス【鉱工業指数（20年05月）】

- 20年5月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は8か月連続の減少となった。業種別の推移では、前月と同様に機械関連や鉄鋼関連、輸送機械の減少が目立っている。設備投資の停滞に加え、自動車関連の生産減などに連動した動きとみられる。
- 在庫循環の動きをみると、前月に続き、積み上がった在庫を減らすために、意図的に減産を行う「在庫調整局面」となっている。
- 生産と輸出の関係を見ると、両者には一定の連動性がみられる。新型コロナの影響が続く中、足元は生産の減少が目立つ。輸出に関しては、5Gやスマホ、PC向けを中心とした電子部品の好調がみられ、極端な落ち込みは避けられているものの、今後の推移が注目される。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。